

環境調査結果のお知らせ

平成24年7月17日午前8時から、浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温23～30℃、塩分13～30、溶存酸素濃度0～12mg/lでした。透明度は1～2mで、有害種のシャットネラ属(アンティカ、マリナ)及びカレニア・ミキモイが多く確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は23.64～29.46℃、塩分は13.26～29.97でした。前回調査時(H24.7.13)と比較して、水温は表層が0～3℃上昇、塩分は2m以深が0～2低下していました。

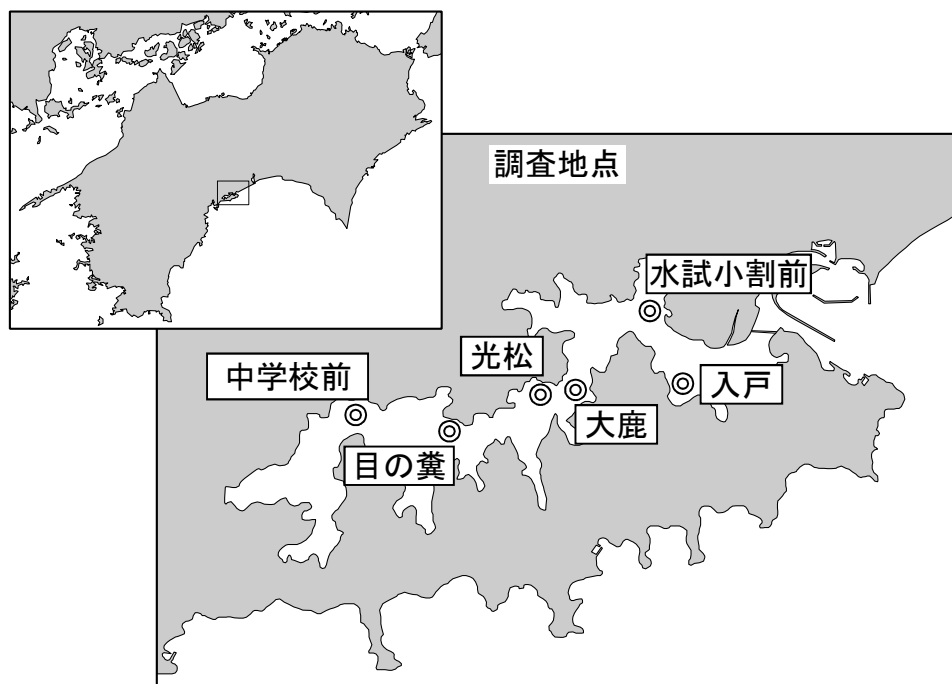
溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は0.24～11.87mg/lで、前回と比べて2～5m層は上昇、それ以外は低下していました。湾内では貧酸素化が進行しており、水試小割から湾奥側では5m層でも貧酸素状態(4.3mg/l以下)になっていました。

プランクトン(表4・5)

濁りの影響とプランクトンの増殖によって、透明度は1.1～2.2mになっていました。検鏡の結果、シャットネラ属(アンティカ、マリナ)が最高5,230cells/ml確認されました。本種は魚類に対して非常に有害で、水試小割ではカンパチに被害が生じています。今後、さらに増殖する危険性が高く、また、パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動することもありますので、餌止めを行うなど十分な対策をお願いします。同じく有害種で、現在、愛媛県や大分県等で大きな被害を与えているカレニア・ミキモイも最高1,640cells/ml出現しています。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.7.13)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	28.91	29.46	29.31	29.38	28.16	27.93	29.38	26.48	2.90
2m	26.55	26.63	26.03	26.32	25.96	25.90	26.33	25.95	0.38
5m	25.55	25.59	25.28	25.15	25.31	25.34	25.34	24.60	0.74
10m	24.01	24.30	24.49	24.46	-	24.91	24.42	24.54	▲ 0.12
B-1m	23.91	23.78	23.66	23.64	24.99	24.83	23.69	23.59	0.10

表2 塩分

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.7.13)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	13.26	14.70	17.19	17.08	16.67	20.54	16.32	16.18	0.14
2m	24.82	24.94	24.43	25.04	25.65	25.76	24.80	27.12	▲ 2.31
5m	27.47	27.46	27.78	28.03	28.13	27.64	27.76	28.53	▲ 0.77
10m	28.76	28.93	29.12	29.23	-	28.80	29.09	29.27	▲ 0.18
B-1m	29.17	29.64	29.97	29.97	29.09	29.02	29.86	30.05	▲ 0.19

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.7.13)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	9.60	10.21	11.87	11.08	10.38	10.07	11.05	11.46	▲ 0.41
2m	10.61	9.26	8.55	9.15	7.84	7.88	8.99	7.78	1.21
5m	2.83	2.68	3.01	2.89	4.04	4.92	2.86	2.67	0.19
10m	0.28	1.43	2.30	2.32	-	3.23	2.02	3.38	▲ 1.36
B-1m	0.24	0.27	0.31	0.27	2.15	2.76	0.28	0.31	▲ 0.02

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸
水深	12.6	15.7	17.0	16.8	9.7	14.0
透明度	1.6	1.1	1.8	2.0	1.7	2.2
前回透明度	1.1	1.1	1.2	1.3	1.5	1.9

表5 プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	シャットネラ属 (アンティカ、 マリナ)	カレニア・ ミキモトイ	ディクテオカ・ フィビュラ	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、 スピラレ)	ケイ藻類
		中学校前	0m	1	0	0
	2m	1,310	830	870	7	1,980
	5m	114	19	58	3	90
目の糞	0m	0	0	0	4	3,550
	2m	5,230	1,020	2,110	2	2,010
	5m	66	17	95	3	80
光松	0m	0	0	0	0	4,000
	2m	246	76	223	3	1,890
	5m	39	27	91	2	380
大鹿	0m	2	1	1	0	4,380
	2m	106	520	352	1	1,840
	5m	39	51	149	2	430
水試小割前	0m	14	0	4	2	4,830
	2m	278	12	113	1	2,200
	5m	39	29	92	3	570
入戸	0m	0	0	0	2	4,750
	2m	205	1,640	1,770	2	1,450
	5m	25	8	49	3	430

瀬戸内各府県の赤潮警報発令基準
●シャットネラ属(マリナ、アンティカ)
10~100cells/ml
●カレニア・ミキモトイ
500~5,000cells/ml